



新村の人口	・世帯数
令和 4 年 1 月 1 日現在	1,315 戸
令和 4 年 1 月 1 日現在	1,525 人
世帯数	1,639 人
男女	3,164 人
合計	

新年のご挨拶



町会連合会長 岩間 瀧太郎

明けましておめでとうございませう。本年は寅年。「寅」は動きの意味から、春が来て冬が厳しいほど芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるとのことだそうです。



虎嘯風生 快走する男の子
～令和 4 年 1 月 1 日元旦マラソンにて～

昨年コロナ禍に振り回され、様々な事業の縮小を余儀なくされました。そんな中、公民館事業では大きな仕事をされました。新村をダイジェストで紹介する、34頁もの地域学習テキスト『あたらしの郷』や、まともと文化遺産として新村に今もそこかしこに姿を留めている文化財を『野麦街道と集落と集落を結ぶ里道』として、写真入りで紹介するパンフレット、どれも素晴らしい出来栄です。

かたや町会連合会でも、縮小を余儀なくされましたが、あたらしの郷協議会と定期的な会合を昨年から立ち上げ、新村の大きな課題である、地区防災計画の策定、通学路の整備など、検討を進めておられます。両団体が力を合わせ、難局を乗り越えようと思えます。



参加者を楽しむカップ

この1年が皆様に幸多かれと願って。

第7回 ニュースポフェスIN 新村開催!!

新村体育協会 スポーツ推進委員 熊井 陽一朗

まず、昨年度開催できなかったニューズポフェスIN 新村が今年開催できたことにホッとした気持ちでいます。今年11月28日(日)芝沢体育館を会場に開催し、約50名の参加者がニューズポフェスを体験しました。

今年度の体協事業計画に11月開催のニューズポフェスが組み込まれている中、それまでのイベントはコロナ禍で開催を断念。今年のニューズポフェスはコロナ禍でもできることをテーマに体協役員ほか、多くの方々に協力していただきニューズポフェス体験できる種目を考え、ソーシャルディスタンスを保ち消毒、換気など十分注意して開催することができました。

今年度の目玉種目として新たにクップを取り入れ、他にウォーキングサッカー、ストラックアウト、輪投げ、ボッチャの計5種目で来場者を楽しんでもらいました。

今年度は体協事業計画に11月開催のニューズポフェスが組み込まれている中、それまでのイベントはコロナ禍で開催を断念。今年のニューズポフェスはコロナ禍でもできることをテーマに体協役員ほか、多くの方々に協力していただきニューズポフェス体験できる種目を考え、ソーシャルディスタンスを保ち消毒、換気など十分注意して開催することができました。

今年度は体協事業計画に11月開催のニューズポフェスが組み込まれている中、それまでのイベントはコロナ禍で開催を断念。今年のニューズポフェスはコロナ禍でもできることをテーマに体協役員ほか、多くの方々に協力していただきニューズポフェス体験できる種目を考え、ソーシャルディスタンスを保ち消毒、換気など十分注意して開催することができました。

今年度は体協事業計画に11月開催のニューズポフェスが組み込まれている中、それまでのイベントはコロナ禍で開催を断念。今年のニューズポフェスはコロナ禍でもできることをテーマに体協役員ほか、多くの方々に協力していただきニューズポフェス体験できる種目を考え、ソーシャルディスタンスを保ち消毒、換気など十分注意して開催することができました。

今年度は体協事業計画に11月開催のニューズポフェスが組み込まれている中、それまでのイベントはコロナ禍で開催を断念。今年のニューズポフェスはコロナ禍でもできることをテーマに体協役員ほか、多くの方々に協力していただきニューズポフェス体験できる種目を考え、ソーシャルディスタンスを保ち消毒、換気など十分注意して開催することができました。

穂束八

デジタル社会への加速から文章は横書きのタッチ入りに替わり、実際に筆を取ってものを書く機会が減っているようだが▼パソコンやスマホで読まれる情報も横書きで、日本語の特性が活かされた縦書きを奨励すべきという声もあがっている▼古来日本人は縦に文字を書き言葉を紡いでいくことで

精神を醸成させてきた。横書きの横行は文字の特性を歪めた愚行とある書家は警鐘を鳴らす▼中国や韓国の新聞はすでに横書きとなっているが、日本では新聞はじめ小説・台本・作文等、縦書きの風習や文化は多く残されている▼年末松本駅に掲げられた高校書道部の大作「おかえりなさい」に立ち止まり安堵しながらも、これがパソコンで打った横文字のポスターなら意味が違ってくるのではと感じる。先人の言葉「身体は筆で取りなす」、精神の食事は筆で取りなす▼今年も筆を持って「徒然なるままに」縦書きに文章を綴り、精神の食事をしっかりと取っていくことを新年の決意とすることはどうか。

弦の響きに包まれて



素敵な音色を奏でた二人

市の福祉政策の一翼を担うべく、新村地区福祉ひろばが開設され25年が経ちました。11月6日(土) 25周年記念のコンサートが、公民館にて52名の参加で開催されました。出演はバイオリンとチェロのデュオ「音喜楽ボーイズ」です。音楽の演奏と軽妙で楽しいトークのひと時。クラシック、童謡、歌謡曲など、ジャンルは問わず楽譜はなくても曲を知っていれば演奏できるというお二人です。最前列の子どもからのアニメソングのリクエストにも即座に응えてくださり、会場は大いに盛り上がりました。福祉ひろば職員は、「今まで同様、それ以上に、みなさんに親しまれる『ひろば』にしていきたい」と話していました。記念に紅白まんじゅうも配られ、参加者の皆さんと節目のお祝いをする事ができました。

初冬の木曾路を訪ねて 義仲館・山村代官屋敷

ものぐさ大学

長野県立美術館 東山魁夷・唐招提寺御影堂障壁画展

「朝日將軍義仲」と誇らしく歌われている義仲が、大河ドラマの主人公に成れない『何故

12月7日(火) 美術館巡りで木曾町の義仲館を総勢27名で訪れました。車中、ものぐさ大学理事の方から、義仲は清和源氏の生まれで、頼朝や義経と従兄弟であること、平氏追討の戦いやその末の覇権を争う時代に翻弄され、最期を遂げた話を聞きました。



解説はリモートで

県歌信濃の国では「朝日將軍義仲」と誇らしく歌われている義仲が、大河ドラマの主人公に成れない『何故か』を探るのも、この度、義仲館を訪れた理由のひとつです。令和3年7月リニューアルオープンした館内では研究者とリモートで繋がって早

11月19日(金)、参加者28名で昨年リニューアル開館した長野市の県立美術館を訪れました。東山魁夷の記念碑的大作である奈良・唐招提寺御影堂の障壁画68面が一堂に展示された特別展で、その壮大で威厳のある色彩美は圧巻でした。作者が10年もの歳月をかけて制作した障壁画は通常非公開のもので、日本や中国の理想的な自然として描かれた風景に魅了された時間となりました。



入回付近で記念写真

戦後一時期、日本銀行の保養所に使われたそうで、今回

直轄地を治めた、山村代官屋敷を見学しました。福島関所と木曾代官を永代兼ねていた山村氏。一代官でありながら広大な屋敷を構えていたそうです。現在の建物は下屋敷の一部で隣合わせにある福島小学校は本邸があった場所といわれています。また木曾駒ヶ岳を借景した庭園も豪華で落ち着いた雰囲気でした。



昔も寒かったでしょうね

の参加者の中に、この下屋敷に宿泊した方がおられたのは驚きと同時に、歴史ある建物の奥深さを感じました。

シリーズ 新村七不思議② 何の煙だ? 12月14日(火) 公民館の帰りに、松大の自転車置き場西のグラウンドから青白い煙がモクモクと!何だろう?と学生に聞いてみると「焼き芋会」とのこと。グラウンドの入り口には、30名ほどが並んで焼き上がりを待っていました。いつから行っているか不明ではあるが、5年前からは学友会、渉外局が引き継いでいるそうだ。 大学敷地内の落ち葉を集



焼き上がりを待つ学生

めてもらい、たき火で200本ものさつま芋を焼くとのこと。これもSDGsですかね。